

どくしょかんそう文を  
かこう



# 1. 心がうごいたところに、ふせんをはる

すごいなあ かっこいいなあ

よかった うらやましい えらいなあ

かわいそう いやだなあ ひどいなあ

ふしぎだなあ どうしてかなあ

## 2. とくに、心がうごいたところ を 一つか二つ えらぶ

### 一つ目

スイミーはおよいだ、くらいうみの  
そこを。

こわかった。さびしかった。とても  
かなしかった。

2. とくに、心がうごいたところ  
を 一つか二つ えらぶ

二つめ

スイミーはかんがえた。いろいろ  
かんがえた。うんとかんがえた。

# 3. さあ、かきはじめよう



3つのなかまにわけてかくよ。

①

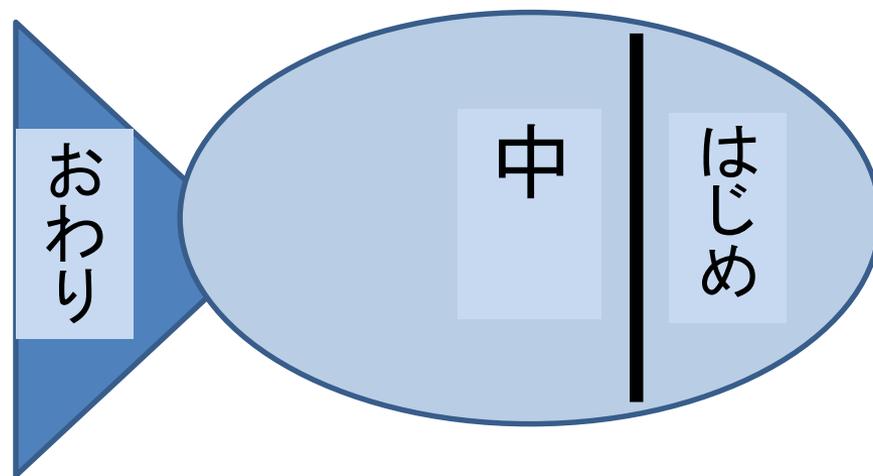
はじめ

②

中

③

おわり



① 「はじめ」にかくことは

なぜ、この本をよんだのか

絵がかわいかったから

先生にすすめられたから

よみかたりによんでもらって、すき  
になったから

# ①「はじめ」にかくことは

なぜ、この本をよんだのか

わたしはスイミーの本をよんだよ。  
1年生のときにみんなでべんきょうを  
して、おもしろかったので、もう一度  
よんでみたよ。絵本は絵が大きくて、  
きれいで、わたしはこのお話がもっ  
とすきになったよ。

## ② 「中」にかくことは

とくに、心がうごいたことについて、くわしくかく。

- ・どんなことがおきたのか
- ・そのとき、自分はどうおもったか
- ・自分が〇〇だったら・・・
- ・自分が〇〇の友だちだったら・・・

## ② 「中」にかくことは

- ・どんなことがおきたのか

スイミーは、小さな魚。きょうだいたちとなかよくくらしていたけど、おそろしいまぐろがやってきて、スイミーはひとりぼっちになってしまった。

## ② 「中」にかくことは

・そのとき、自分はどうおもったか

しいんとしたくらい海に、一人だけでいるのはこわかっただろうな。みんなといたころを思い出したり、まぐろがきたときのこわさを思い出したりしたのかな。

## ② 「中」にかくことは

にたような思いをしたこと

わたしも、ひとりぼっちは大きらい。友だちとけんかをして一人になったとき、すごくかなしかったよ。はじめはあい手のことをおこっていたけど、さいごはさみしい気持ちでいっぱいになったよ。

## ② 「中」にかくことは

- ・どんなことがおきたのか

そしてある日、スイミーはきょうだいとそっくり魚たちに出会ったよ。でも、まぐろがこわくてどこにも行けなかったから、スイミーはかいけつ方ほうを一生けんめいかんがえたよ。

## ② 「中」にかくことは

- ・そのとき、自分はどうおもったか

スイミーは新しい友だちにきれいなものを見せたかったし、もっと楽しい気もちになってほしかったんだね。

## ②「中」にかくことは

自分が〇〇だったら

わたしがスイミーだったら、こんなにかんがえずにあきらめてしまうよ。算数やてつぼうができないときにもまあいいやと思ってしまうよ。がんばってもどうせできなくて、もっとかなしい気持ちになるのがいいやだからだよ。・・・

## ② 「中」にかくことは

自分が〇〇だったら

でも、スイミーはなんどもかんがえて、友だちと力をあわせてついにまぐろをおい出して、すごいな。

## ② 「おわり」にかくことは

〇〇に言っておあげたいこと

自分がこれからしたいこと

## ② 「おわり」にかくことは

〇〇に言ってあげたいこと

わたしは、スイミーにあきらめず  
にがんばってよかったね、みんなと  
なかよくくらしてねと言ってあげた  
いな。

## ② 「おわり」にかくことは

自分がこれからしたいこと

わたしも、スイミーのように、さいごまでがんばってみたら、いいことがまっているのかな。